

サビエル生誕五百年



巡礼の道

藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

168

クメールの栄枯盛衰

カンボジアの面積は日本のほぼ半分。人口は千四百万人弱で、多くは稲作を中心とする農業が生業である。

かつては「森林の国」と言われ、原生林の宝庫であった。その広大な森林を切り開いて作られたのが

アンコール・ワット、アンコール・トム。アンコール遺跡はカンボジアで唯一の世界遺産だが、クメール民族がインドシナ半島の大半を支配した栄光の歴史は現在、

クメール人の国カンボジアについて、今回旅するまで知っていたのはアンコール遺跡、シアヌーク殿下、ポル・ポトぐらいである。それも名前だけ。しかし、調べてみると日本と意外なところでつながりがあった。

カンボジアは仏教国だが、そこにキリスト教を伝えたのは日本人なのである。サビエルによって日本に伝えられたキリスト教は短期間に多くの信者が誕生した。

しかし、豊臣秀吉のキリスト教禁止令、それを引き継いだ徳川家康によってキリスト教は迫害され、キリシタ大名の高山右近や信

者らは海外に追放された。その一部の人たちがカンボジアに渡り、キリスト教を伝えたのである。イエズス会が作ったカンボジアにおけるキリスト教の資料の中にそのことが記録されている。

写真にあるように日本の国旗が描かれており、山上の十字架は長崎の二十六聖人を表したものだという。

ជំនាញ់ ១ បាណ៍ ព្រះ ចៅ អធិបាទ ជំនួស បញ្ជា អោយ សម្លា គ្រីស្ទ បរិស័ទ ខ្លះ រត់ ភៀស ខ្លួន ទៅ ប្រទេស ភ្នំពេញ ខ្លះ ទៀត មក រស់ នៅ ប្រទេស



カンボジアにキリスト教を伝えたのが日本人という絵

もわか

世界遺産として存在していることでもわか

者らは海外に追放された。その一部の人たちがカンボジアに渡り、キリスト教を伝えたのである。

写真にあるように日本の国旗が描かれており、山上の十字架は長崎の二十六聖人を表したものだという。

一九六五年にアンコール遺跡を訪れた作家の三島由紀夫は、現地に伝わる伝統をヒントに「瀨王のテラス」という戯曲を書いていることを初めて知った。とはいえ日本から直

行便もなく関係が薄かったのは事実だ。



第一回廊の長辺は二百メートルもある

三重の回廊に囲まれたアンコール・ワットのうち東西に二百メートル、南北に百八十メートルの第一回廊の彫刻は壮大なギヤラリーである。当時のクメールの栄盛がしのばれる。

しかし、人間の世、栄盛あるところには必ず枯衰がある。が、今は衰えているクメール

の国カンボジア、国民の半数近くが十五歳以下の子どもである。アンコール遺跡の入



回廊の彫刻は見事だ

2009.07.22